

高栄養価牧草を用いた草地改良を行う地区の概要

〇〇年度高栄養価牧草を用いた草地改良計画（変更）

1 地区概要

地 区 名			
事業実施主体 名称			
住 所	〒 TEL () — FAX () —		
申 請 者 (代表者名)			
事業参加者数	戸 《 》	総転換面積	ha 《 》
総 事 業 費	円 《 》	うち補助金	円 《 》

注1：実施計画を変更する場合は、変更前を括弧書きで上段に、変更後を下段に二段併記すること
(以下同じ)。

注2：当該年度に施工が完了する地区及び分割施工地区の1年目の経費については上段に記載すること（以下同じ）。

注3：《 》内は、分割施工により翌年度に要する経費について外数で記載すること（以下同じ）。

注4：総事業費及び補助金は、調査分析に要する経費を含めて記載すること。

2 指導を受ける普及指導機関等の名称

--

3 高栄養価牧草を用いた草地改良の実施方針

--

注：高栄養価牧草を用いた草地改良として、普及指導機関等と連携しつつ、どのような取組を行うかを具体的に記載すること（例：家畜改良センター〇〇牧場の指導の下、生産性が低下したチモシー主体草地からアルファルファ主体混播草地（アルファルファ 50%、チモシー50%）に転換等）。

4 事業参加者概要

No.	氏名	転換面積 (ha)	事業費 (円)	補助金 (円)	調査分析			高栄養価牧草を用いた草地改良			備考
					数量 (点)	事業費 (円)	補助金 (円)	事業費 (円)	補助金 (円)	補助単価 (円/ha)	
1											
2											
3											
合計											

注1：「No.」及び「氏名」欄において、事業参加者が複数のほ場で転換を行う場合は、ほ場ごとに枝番号で記載すること。また、別紙2－1様式第1－3号、第1－4号の「No.」及び「氏名」欄には、この事業参加者概要に記入した内容と同一のものを記入すること。

注2：「調査分析」の「数量」欄には、土壌分析、飼料分析、堆肥分析、概況調査の合計点数を記入すること。

注3：「高栄養価牧草を用いた草地改良」のうち、「補助金単価」について上限金額の例外を適用する場合は、事業参加者ごとにその理由書（自然災害による土壌流出などやむを得ない理由が分かる写真等を含む）を添付すること。

注4：2か年で施工するほ場については「備考」欄にその旨を記載すること。

別紙 2－1 様式第 1－2 号

調査分析及び高栄養価牧草を用いた草地改良等の全体概要

1 調査分析

区 分	数 量 (点)	事 業 費 (円)	負 担 区 分 (円)	
			補助金	その他
土壌分析	《 》	《 》	《 》	《 》
飼料分析	《 》	《 》	《 》	《 》
堆肥分析	《 》	《 》	《 》	《 》
概況調査	《 》	《 》	《 》	《 》
合 計	《 》	《 》	《 》	《 》

2 技術普及

区 分	主な取組内容	事 業 費 (円)	負 担 区 分 (円)	
			補助金	その他
ほ場展示器具		《 》	《 》	《 》
会議・研修会		《 》	《 》	《 》
普及資料作成		《 》	《 》	《 》
その他		《 》	《 》	《 》
合 計		《 》	《 》	《 》

注：次のアからエまでの技術普及の取組のうち、アの取組を行う場合は「ほ場展示器具」欄に、イの取組を行う場合は「会議・研修会」欄に、ウ・エのいずれかの取組を行う場合は「普及資料作成」欄に、その他の取組を行う場合は「その他」欄にそれぞれ内容や費用を記入すること。

ア：看板設置によるほ場展示

イ：事例発表や意見交換のための会議や飼料生産組織等への現地研修会等の開催

ウ：取組事例等を掲載したパンフレット・マニュアル等の配布

エ：ホームページや機関紙等への掲載による取組事例等の周知

3 技術指導

主な指導内容	事業費 (円)	負担区分(円)	
		補助金	その他
	《 》	《 》	《 》

4 高栄養価牧草を用いた草地改良

(1) 取組の概要

面積 (ha)	事業費 (円)	負担区分(円)	
		補助金	その他
《 》	《 》	《 》	《 》

(2) 転換後対象草地における事業の成果目標

次のいずれかを目標値として設定し、() 内に○を記載すること。

- ① 転換対象草地における単位面積当たりの収量増加率 25%増以上の目標値 ()
- ② 転換後の対象草地における単位面積当たり収量を指標とし、当該地域におけるマメ科牧草主体草地の単位面積当たり平均収量を上回る目標値 ()
- ③ 転換対象草地における牧草の粗蛋白質 (C P) 含有率又は単位面積当たりの C P 含有量の増加率 20%増以上の目標値 ()

	転換前	転換後 (目標)	事業実施年度	目標年度 (○年度)	増加率 (%)
①					
②					
③					

注1:「転換前」及び「転換後(目標)」欄には、設定した目標値に応じて単位面積当たり収量(kg/10a)、粗蛋白質含有率(%)又は単位面積当たり粗蛋白質含有量(kg/10a)を記入すること。

注2:「事業実施年度」欄には、1年施工、2か年施工がわかるように記入する((例)令和○年度施工、令和○-△年度施工)。

注3:目標年度は事業完了後3年以内とする。

注4:増加率は「(転換後-転換前)/転換前×100」にて計算し、①又は③を選択した場合のみ記入すること。

注5:複数の目標値及び目標年度を設定する場合は、適宜行を追加すること。

5 その他協議が必要な事項

(1) みどりのチェックシートの実践

- ・全ての事業参加者から「みどりのチェックシート」を徴収し、その内容を確認した場合は、右の□に✓を記入

☐

(2) 公的機関に準ずる機関

(注)

実施要領別紙2－1第2の4に基づき、公的機関に準ずる機関による調査分析結果を本事業の調査分析結果とする場合は、その機関が公的機関に準ずることを証明するため、機関の代表者及び住所等を記述し、機関の概要や実績等が分かる書類を添付すること。

(3) その他留意事項

(注)

草地転換実施前の分析を行わない場合や事業で堆肥を用いない場合又は土壌改良に必要な土壌改良資材等を数年に分割して施用する場合は、その理由及び計画を記述すること。

前事業から必要な年数が経過していないにもかかわらず、実施要領別紙2－1第6の2の(2)に基づき、本事業の実施が必要な場合は、その理由を記述すること。

6 その他必要な書類等

事業参加者ごとの次の書類等を添付すること。

①農家の位置図

②転換地の計画平面図

③事業実施前の生産性の低下した草地の状況が分かる写真等

④みどりのチェックシート

※ ④は地方農政局長の求めに応じて提出すること。

別紙 2－1 様式第 1－3 号 調査分析の詳細

1 転換前

通し No.	No.	氏名	数量 (点)	事業費 (円)	補助金 (円)	左の積算基礎															
						土壌分析				飼料分析				堆肥分析				概況調査			
						単価 (円)	数量 (点)	事業費 (円)	補助金 (円)	単価 (円)	数量 (点)	事業費 (円)	補助金 (円)	単価 (円)	数量 (点)	事業費 (円)	補助金 (円)	単価 (円)	数量 (点)	事業費 (円)	補助金 (円)
1																					
2																					
合 計																					

2 転換後

通し No.	No.	氏名	数量 (点)	事業費 (円)	補助金 (円)	左の積算基礎															
						土壌分析				飼料分析				堆肥分析				概況調査			
						単価 (円)	数量 (点)	事業費 (円)	補助金 (円)	単価 (円)	数量 (点)	事業費 (円)	補助金 (円)	単価 (円)	数量 (点)	事業費 (円)	補助金 (円)	単価 (円)	数量 (点)	事業費 (円)	補助金 (円)
1																					
2																					
合 計																					

注 1：1、2ともに、実施予定のない参加者の分については省略しても良い。

注 2：1、2ともに、「No.」及び「氏名」欄には、別紙 2－1 様式第 1－1 号の「4 事業参加者概要」に記入した内容と同一のものを記入すること。

別紙 2－1 様式第 1－4 号 転換の詳細

1 転換ほ場の状況、転換費用の積算

通し No.	No.	氏名	事業の成果目標				裸地化・強害雑草混入等面積の割合(%)				転換 面積 (ha)	施工法	事業費 (円)	補助金 (円)	左の積算基礎(円)				
			設定した 目標	転換前	転換後 (目標)	増加率 (%)	裸地化	強害 雑草	病虫害 他	合計					施工費	種子費	肥料費	土改材費	その他
1											《 》		《 》	《 》	《 》	《 》	《 》	《 》	《 》
2											《 》		《 》	《 》	《 》	《 》	《 》	《 》	《 》
											《 》		《 》	《 》	《 》	《 》	《 》	《 》	《 》
合計											《 》		《 》	《 》	《 》	《 》	《 》	《 》	《 》

注 1：「No.」及び「氏名」欄には、別紙 2－1 様式第 1－1 号の「4 事業参加者概要」に記入した内容と同一のものを記入すること。

注 2：「設定した目標」欄には、別紙 2－1 様式第 1－2 号の「4 高栄養価牧草を用いた草地改良 (2) 転換後対象草地における事業の成果目標」の①から③までのうち該当するものを記入すること。

注 3：「事業の成果目標」欄には、「設定した目標」欄に①及び③を記載した場合に、対応する単収 (kg/10a)、粗蛋白質含有率 (%) 又は単位面積当たりの粗蛋白質含有量 (kg/10a) をそれぞれ記入し、「増加率 (%)」は「(転換後－転換前)/転換前×100」にて計算すること。

注 4：「施工法」欄には、採用する施工法について完全更新法、簡易更新法、不耕起播種法等の別を記入すること。

2 転換に係る資材等

通し No.	No.	氏 名	転換 面積 (ha)	施工法	資材の詳細			
					種子	肥料	土改材	その他
1								
2								
3								

注1：「No.」及び「氏名」欄には、別紙2－1様式第1－1号の「4 事業参加者概要」に記入した内容と同一のものを記入すること。

注2：「施工法」欄には、採用する施工法について完全更新法、簡易更新法、不耕起播種法等の別を記入すること。

注3：「資材の詳細」の「種子」欄には、草種（品種）及び10a当たりの播種量等を記入すること。

注4：「資材の詳細」の「肥料」、「土改材」及び「その他」欄には、種類及び10a当たりの使用量等を記入すること。